

今古東西

アリーナ構想が出されてはや3年、1年8カ月前は市長選挙の争点の一つだった▼近隣の人たちは当初、利便性よりこれ以上騒音が発生するような施設はお断り。二度来てみりん、土日祝祭日は、朝から陸上競技場、野球場、テニスコート

ほかに公園内での催し物のスピーカーの音がやかましい。道路は交通渋滞、おまわりさんの笛、挙句の果てにパトカーのサイレン、とても休んじゃおれんぞん」と語っていた▼5月30日、浅井由崇市長はアリーナ建設は豊橋公園に決定したと発表した。国や県の財政面の全面的なバックアップで、全国初の施設として2

026年度の開設が期待される。担当課の努力で八町校区の理解も得ていると聞く▼自民党豊橋市議団はもとより、浅井市長を支援した会派の人たちも、市の財政負担が少なければ理解していくだろう。議会は「言論の府」。会派は市民の代表として議論を交わしていくが最後は妥協だ。上手な着地を期待したい。(原)